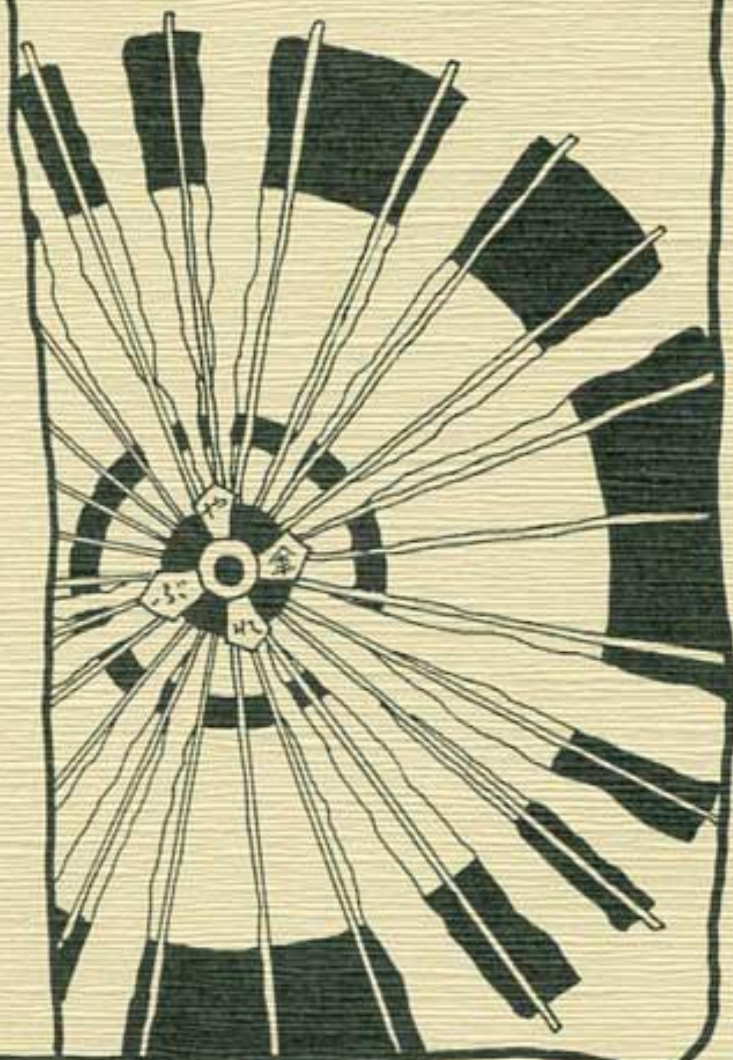


やぶれ傘



五十一号

二〇〇九年十二月

ラジオ体操ときをり威し銃の音	根橋宏次
ト口箱の秋刀魚の氷まみれなる	きくちきみえ
引越しの荷物の一つ菊の鉢	廣瀬雅男
地下道の壁に耳の絵太閤忌	瀬島洒望
庭影のひとつとなりし酔芙蓉	天野美登里
手探りのスイッチに触れ十三夜	安藤久美子
屋根抜けし農具置き場や蓼の花	丑久保勲
すぢ雲のはてにありけり昼の月	藤井美晴
くねりたるままに轆かれて秋の蛇	大島英昭
丸墓山といふ塚山秋深し	白石正躬
川岸の蛇籠より生ひ彼岸花	渡邊孝彦
茶の花の垣を跨ぎて隣家へと	國保八江
欄干からこゑと飛び込む裸の子	有賀昌子
面の奥に対する眼あり汗忘る	松村光典
サルビアの盛りや小糠雨の降る	齋藤朋子

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

千屈菜 <small>みではぎ</small> や寄り来る鯉の口あまた	篠崎善久
弁当の隅に郷土の菊膾	鈴木昌子
大仏は猫背におはす鯛雲	武田紀久
大蓼の花一面の中洲かな	時田義勝
草紅葉雲よりのぞく剣岳	都丸スミ代
波音は鬼百合の咲く小径まで	貫井照子
秋空に飛行機雲の何処迄	橋本美代
小上がりの壁に番付衣被	松本善一
花野ゆく宿の迎へを断りて	松本正生
秋蝶は松ふく風に逆らはず	秋山信行
新盆の夜は父母の寝間に寝て	浅嶋 肇
赤とんぼ去年ここらは芋畑	岩藤礼子
魯田や畦に憩へる測量士	小川 滋
甲斐駒を遠見にあかねとんぼかな	奥田温子
秋深む風に日射しにせせらぎに	久世孝雄

煙草の火

大崎紀夫

夜の湿り山を降りくる風の盆
甘く渋し秩父の茱萸のひと粒の
ほろ酔ひの道にこよひの鉦叩
安房なれや砂地の畑の蔓たぐり
蛇穴に入るころあひの風吹けり

藁の香のさ庭にこもる村芝居
煙草の火いくつか夜の鱸釣り
団栗を窓より投げてけふ終はる
畑道を畦道に入る星月夜
月白の河口の砂嚙を歩きけり
畝の間を猫車くる秋ぐもり
庄内の夕日小豆を干す庭に

威し銃

根橋宏次

吹かれては舟に舟寄る赤のまま
幔幕に夕日さしくる盆芝居
家苞は経木のにほふ栗強飯
屋根石の雨に濡れゐる帰燕かな
白粉花や路地に干されしままの傘
ラジオ体操ときをり威し銃の音
ビニールの袋くもらす栗の息
秋天へ棟上の餅撒かれけり
秋鯖や時彦の句を口遊み
菜園の仕切りは紐やたうがらし

ト
ロ
箱

きくちきみえ

ト
ロ
箱
の
秋
刀
魚
の
氷
ま
み
れ
な
る
終
電
の
去
り
て
ち
ち
ろ
の
夜
な
り
け
り
車
庫
に
入
る
電
車
は
秋
の
灯
を
こ
ぼ
し
秋
日
差
し
猫
の
居
眠
る
と
こ
ろ
ま
で
川
筋
の
果
て
に
秋
空
あ
り
に
け
り
空
き
箱
に
し
ま
ふ
空
き
箱
秋
深
し
鱸
綱
の
油
の
匂
ふ
鱒
雲
枯
れ
た
る
も
真
新
し
き
も
墓
の
菊
猪
垣
の
ト
タ
ン
に
風
の
当
た
る
音
シ
ー
ソ
ー
の
影
の
ま
す
ぐ
に
水
引
草

菊の鉢

廣瀬雅男

野の花の野にあるやうに活けてあり
蓑虫の揺るる辺りの暮れ残る
満月の明りを部屋に通しけり
刈り胡麻の畑の真中に積まれをり
門前に杖貸す茶店秋すだれ
秋風の抜ける座敷の胡麻豆腐
稲の葉と共に捕らへし蝗かな
引越しの荷物の一つ菊の鉢
鉄瓶に菊を活けたる蕎麦屋かな
食卓に朝日の届くところろ汁

太閤忌

瀬島洒望

炎 昼 や 色 塗 り 替 へ る 漁 船
干 し 草 の に ほ ふ 馬 術 部 厩 舎 かな
炎 天 下 満 車 の コ イ ン パ ー キ ン グ
地 下 道 の 壁 に 耳 の 絵 太 閤 忌
か ま つ か の 鉢 寄 せ て あ り 築 地 堀
秋 彼 岸 隣 の 墓 に 新 塔 婆
鳥 威 し 鴉 の 形なり を し て み た り
汽 笛 聞 く 色 変 へ ぬ 松 あ る 庭 に
芒 原 川 筋 曲 が る あ た り かな
植 木 職 で あ り 菊 師 で あ り に け り

酔芙蓉

天野美登里

庭影のひとつとなりし酔芙蓉
初山の築かれながらくづれけり
椎の実を拾ふ社の石坂に
箸置は庭木の枝やとろろ汁
ゆきづりにくちなしの実を摘みにけり
沼風はさざなみとなり臭木の实
欠伸する小川の釣師花嫁菜
りんだうやおひさま空に高くして
晩秋の杉山の道下りけり
夜の雨のたたく背高泡立草

十三夜

安藤久美子

風立つや花野に沈む道標
フランスパン小脇に坂を秋桜
友禅菊燈下に彩を放ちけり
旅人となりゆく朝彼岸花
魚沼の刈田稔田それぞれに
寝転べば海となりけり星月夜
色鳥来金平牛蒡ある昼餉
手探りのスイッチに触れ十三夜
屋根よりのあいさつ柿を投げくれし
箒目にまたも銀杏落つる音

蓼の花

丑久保勲

真向かひの夕日を浴びる夏の果
白木槿門扉は鉄の波模様
道端に積まるる畳蓼の花
屋根抜けし農具置き場や蓼の花
攪^た網^もを手^もに腹這ふ木橋彼岸花
コスモスの庭へフランス窓を開け
もみぢ葉の秒一尺の流れかな
文具屋のなかの暗さや白芙蓉
行く秋をマチネー跳ねしさざめきに
行く秋やパリのシヨコラの赤き箱

昼の月

藤井美晴

すぢ雲のはてにありけり昼の月
稲光稜線黒きこと刹那
秋日和父母の墓石の掌に熱き
広縁に馬追の来て鳴きにけり
陽だまりに猫が伸びする草の花
この草に声細りゆくきりぎりす
山鳩のこゑの折節きのこ山
秋灯や床の間に立つ琴の影
秋の灯に人影動く磨硝子
雲間より月光至る歓喜天

◇1~2月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
1月	4日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	5日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	5日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	8日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	16日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	23日(土)	AM10:00	楽 天 会	戸田市中央公民館	廣 瀬 雅 男
	24日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	27日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	29日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
2月	1日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	2日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	2日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	5日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	5日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	20日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	21日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	向 島 百 花 園	丑久保 勲
	24日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	27日(土)	AM9:30	楽 天 会	戸田市中央公民館	廣 瀬 雅 男
	28日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) 1月のNHK教室は第5金曜日の29日です。

2月21日(日)の吟行。集合は10時。東武伊勢崎線・東向島駅改札口(東武浅草駅から各駅停車で二つ目です)。吟行地:向島百花園。句会場:森下文化センター(曳舟駅乗り換えて半蔵門線・清澄白河駅下車)。

◎ 連絡先 瀬 島 孟 ☎ 048-862-2757 藤 井 美 晴 ☎ 0422-55-2733
 大 島 英 昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣 瀬 雅 男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ